

科名 泌尿器科
 対象疾患名 尿膜管がん
 プロトコール名 FOLFOX4(末梢投与)

泌尿器29(a)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	...	14
1	点滴	メイン4-①	アロキシバッグ ファモチジン注 ネオレスタール デキサート	0.75mg 20mg 10mg 9.9mg	30分かけて	↓					
2	点滴	メイン4-②	レボホリナート注 5%ブドウ糖液	100mg/m ² 250mL	2時間かけて Rp 3と同時に	↓					
3	点滴	側管	オキサリプラチン注 5%ブドウ糖液	85mg/m ² 250mL	2時間かけて Rp 2と同時に	↓					
4	点滴	メイン4-③	フルオロウラシル注 5%ブドウ糖液	400mg/m ² 50mL	全開投与 15分以内	↓					
5	点滴	メイン4-④	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓					
6	点滴	側管	フルオロウラシル注 生理食塩液	600mg/m ² 500mL	持続静注 22時間かけて	↓					
7	点滴	メイン4-①	デキサート 生理食塩液	6.6mg 50mL	30分かけて	↓					
8	点滴	メイン4-②	レボホリナート注 5%ブドウ糖液	100mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓					
9	点滴	メイン4-③	フルオロウラシル注 5%ブドウ糖液	400mg/m ² 50mL	全開投与 15分以内	↓					
10	点滴	メイン4-④	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓					
11	点滴	側管	フルオロウラシル注 生理食塩液	600mg/m ² 500mL	持続静注 22時間かけて	↓					
12	点滴	メイン	デキサート 生理食塩液	6.6mg 50mL	30分かけて			↓	↓		

1クール＝14日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

【注1】オキサリプラチンは必ず5%ブドウ糖で希釈。(薬効がおちる。)

【注2】デキサート注は6.6～19.8mgで選択可。

【注3】オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。

(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)

grade2の末梢神経障害出現したらオキサリプラチンの減量、休薬を検討

オキサリプラチン減量1段階目65mg/m²、2段階目50mg/m²急速フルオロウラシル減量1段階目300mg/m²、2段階目200mg/m²持続フルオロウラシル減量1段階目500mg/m²、2段階目400mg/m²